

## 「クリッカーの活用」「シラバス設計」に関するランチョンセミナーを開催しました!

お昼休みという短い時間を活用して先生方とぎゅっと詰まったお話をさせていただきランチョンセミナーを開催しました。今回のテーマは、「クリッカーの活用」と「シラバス設計」についてです。

「クリッカーの活用」では授業での利用方法と実際の操作手順についてお話をしました。関西大学では5年ほど前からクリッカーを導入し、主に多人数講義で活用されています。クリッカーの利用方法としては、まず教員が学生に質問と選択肢を出します。その回答をする際、学生はクリッカーのボタンを使って該当する選択肢を選びます。その結果が瞬時にモニターに提示されます。たとえば、「SWATモデルのSは次のうち何を指すか」など前回の授業内容に対する復習として小テストをすることもできますし、「缶

コーヒーのCMを視聴した印象は次のうちどれにあたるか」という質問を出し、「優雅である、親しみやすい」等の選択肢をいくつか用意し、結果をもとに学生同士に意見交換をさせることで学生の多様な意見を引き出すこともできます。様々な利用方法がありますので、ぜひご活用ください。なおクリッカーの予約に関しては授業支援グループまでご一報ください。

「シラバス設計」では、インストラクショナルデザインの考えをもとに、シラバスをさらによくしていくための手立てについて紹介しました。短い時間でも参加いただけるように30分コースとしましたため、参加者は多かったのですが、先生同士で意見交換をしていただく時間を十分にとれませんでした。次回はご希望に応じて、先生方に気軽

にお話しいただける場も設けたいと思います。

2016年度もランチョンセミナーを開催していきますのでどうぞよろしくお申し込み申し上げます!!

(教育推進部 岩崎千晶)



レスポンスカードとレシーバー

## 授業支援ツールの紹介

### 関大LMS (Learning Management System)

関西大学では、平成28年度から新たに「関大LMS」の運用を開始します。関大LMSは、Web上での教材作成、テストの実施やレポートの採点など、授業に必要な機能を網羅しております。さらに、メッセージ機能や会議室機能などにより、受講生—教員間や受講生同士のコミュニケーションを促進することで、教えと学びの双方を支援します。また、スマートフォンやタブレットに最適化された

インターフェースを用意し、多様なブラウザにも対応しているため、ユーザーの環境に合わせて活用することが可能になります。

今後、教育開発支援センターでは関大LMSの活用促進に向けたセミナーなどを開催していく予定です。詳細は教育開発支援センター Web サイトなどでご案内します。

#### 関大LMSの主な機能(一例)

資料の配布や提示	教員がPC上で作成した資料 (Word, Excel, PowerPoint など) をアップロードできます。
テストの実施	テストの作成及び実施ができます。制限時間や受験回数などを設定可能ですし、音声や画像ファイルを問題文の一部としてアップロードできますので、柔軟な作問を行えます。また、自動採点もできますので、学生への即時フィードバックや採点にかかる負担軽減にも有効です。
レポートの採点	レポート課題を提示し、回収・採点・添削を行うことができます。未提出者への督促や再提出の指示をメール送信により行うこともできます。また、類似レポート検知機能もあります。



関大LMS トップページ

### From CTL 事務局

「教育開発支援センター」という組織が学内にあることを知っている学生は、どれくらいいるのだろうか。本誌「ニューズレター」を手にする学生はどれほどいるのだろうか。ラーニングアシスタントやティーチングアシスタントに従事している学生にとっては当センターの存在は周知のことであるのだろうが、ほとんどの学生にとっては、残念ながらセンターの認知度はかなり低く、厳格さが漂う近寄りづらいものに写るのかもしれない。今号は、新入学生も

手にする機会もあると思われるので、センターをほんの少し垣間見たいと思います。

本センターは、関西大学の教育内容・方法を改善していく取り組みや教育効果の評価方法の開発など授業をより良くしていくことを念頭に企画実践する組織で、学生の皆さんが、日ごろ受講している講義を更に発展させる縁の下の力持ち的な存在なのです。身近には、授業評価アンケートの企画運営や今号で取り上げた双方向授業ツール「クリッカー」など授業を行ううえでの優れたものの活用事例を紹介するなどを通じて教育の質向上を支援する

組織と言ったほうが解りやすいのかもしれませんが。教育(授業)は、先生と学生がともに教えと学ぶことにより相乗効果が生まれ発展向上していくものだと思います。この組織の英語名称は「Center for Teaching and Learning」と言い、教え学びが重要な性を端的に示しているかと理解しています。学生の皆さんも教えと学びの共同体の一員として、このニューズレターの愛読者になってもらい、教育開発支援センターの活動に目を向けて寄り添ってもらえればありがたいと切に願っています。

(勝)



**KANSAI UNIVERSITY**

関西大学 教育開発支援センター Kansai University Center for Teaching and Learning

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL: 06-6368-1513 FAX: 06-6368-1514

<http://www.kansai-u.ac.jp/ctl/index.html>

発行日/2015年3月29日 編集・発行/関西大学 教育開発支援センター